

 市場価格

ドル建て      ドル/toz

Platinum	Price	Date
Open	964.64	2023/9/4
High	967.75	2023/9/4
Low	893.36	2023/9/4
Close	897.14	2023/9/8

円建て      円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4535.00	2023/9/4
High	4545.00	2023/9/4
Low	4244.00	2023/9/8
Close	4263.00	2023/9/8

ドル建て      ドル/toz

Palladium	Price	Date
Open	1218.50	2023/9/4
High	1232.92	2023/9/4
Low	1181.82	2023/9/6
Close	1198.94	2023/9/8

円建て      円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	5744.00	2023/9/4
High	5826.00	2023/9/8
Low	5620.00	2023/9/6
Close	5707.00	2023/9/8

 ニュースエクスプレス

## 南アフリカの加工在庫の処理、予測より遅いスピード

インバラプラチナムの2022年7月から2023年6月となる今年度の業績報告書によると、約 4.0トンのプラチナに相当する6E PGM（プラチナ、パラジウム、ゴールド、ロジウム、ルテニウム、イリジウム）の加工在庫は 7.6 トンで、2023年度の最初の6ヶ月間で、ネットベースで6E 3.3トン が累積したことになる。今年初めに当社のメンテナンスがあったが、その再開がエスキュームの計画停電で遅れたことも、加工在庫量の一旦となっている。またアングロ・アメリカン・プラチナムでも、2023年上半期時点で6E の加工在庫は 1.4トン 増加しており、同社によると、当初の計画になかった約 7.8トンの 6E PGM を年内に加工する予定だとしている。年末までに大手PGM 鉱山会社が抱える加工在庫は当初の予測よりも多くなる可能性が指摘されている。

今後12ヶ月の間には既に計画されているメンテナンス作業があることから、さらなる加工処理の遅れにより、精錬プラチナ生産の一部は2024年以降に押しやられる可能性がある。南アフリカの精錬プラチナ生産は昨年の 126.3トンから 3% 増えて 129.7トンに増えると予測されているが、加工在庫処理が終わらなければ、それは実現しない可能性がある。特に心配されるのは年内に再び計画停電が増えるかどうかだ。

[https://www.heranac.com/media/media.htm?doc\\_id=10905&media\\_update/en\\_6/Appraisal\\_20230904.pdf#m5dytrnd\\_w0V6fPvUJAY6y6u5X-yf6d8zDvruUk3kED90](https://www.heranac.com/media/media.htm?doc_id=10905&media_update/en_6/Appraisal_20230904.pdf#m5dytrnd_w0V6fPvUJAY6y6u5X-yf6d8zDvruUk3kED90)

## プラチナとパラジウムの秘められた将来性

長年、貴金属市場の主人公はゴールドとシルバーだったが、その座を脅かしているのはプラチナとパラジウムだ。プラチナとパラジウムは様々な用途を持つだけでなく、経歴豊富な投資家や意識の高い消費者にとっては金銭的な利益をもたらす可能性もある。世界の地金市場が成長している中で、今こそプラチナとパラジウムの将来性を検討する時期だ。

プラチナは自動車、医療、石油精製に、パラジウムは電子材や製造業に使われるなど、この二つの貴金属は幅広い産業分野で不可欠な材料として重宝されている。それにも関わらず、2022年の時価総額3000億ドル以上とされる世界の地金市場の、ほんの一部を占めるに過ぎない。

ゴールドとシルバーはそのまま財産となったり、宝飾品に加工されたりするが、プラチナとパラジウムはむしろ工業用のメタルとしての価値が高く、これが興味深い経済的な資産価値を生み出す。工業が発展するにつれ、そこで使われるプラチナやパラジウムのようなメタルの需要が増え、時には供給を超えることも多い。つまり長期で見ると、プラチナやパラジウムの展望は安定しているだけでなく強気であると言える。

特にプラチナの将来性は非常に大きい。オンス単位ではゴールドよりも 15 倍から 20 倍も希少性が高いにも関わらず、価格はゴールドを下回ってきた。しかしマーケットがプラチナの希少性と有益性という価値に見合う評価を下せば、今後価格が上昇する可能性は大きいにある。

一方でパラジウムは貴金属市場のダークホースと言えるだろう。他の貴金属ほど知られていないが、実は電子材産業での需要が特に多い。非常に優れた伝導性と、耐食性が強いことから、パラジウムはスマートフォンや電気自動車などの部品に数多く使われている。我々の生活のデジタル化が進むにつれて、パラジウムの需要は今後増えていくだろう。

また化石燃料を使わない燃料への注目も、プラチナとパラジウムの需要につながる。プラチナは、クリーンエネルギーの先駆を行く水素燃料の製造に不可欠で、パラジウムもまた、高性能バッテリーや再生可能エネルギーシステムに欠かせない。持続可能な社会を目指す動きは環境に良いだけでなく、こういった見過ごされてきたメタルの価値を見出す機会とも見える。

投資家にとっては、プラチナとパラジウムに投資することでマーケットの変動に対するヘッジとなる。プラチナとパラジウムは、株やゴールドなどの動きとは反対の動きをすることが多いからだ。先行き不透明な市場では投資資産の分散化が大事で、プラチナとパラジウムはそのための有効な手段だ。

今や、世界中の投資家や消費者がプラチナとパラジウムの価値と将来性を再認識する時期に来ている。ゴールドとシルバーの魅力は衰えることはないが、従来と違う考え方、将来を見越した考え方をすることが、これからの投資家や消費者には重要なことだ。プラチナとパラジウムは単なるメタルではない。実用性の高い用途と経済的な価値をもつ、将来に向けた投資なのだ。

変化の激しいマーケットにおいて、ゴールドに固執することは、他の貴金属の将来性をみすみす見送ることになる。プラチナとパラジウムの価値が高まることは明白で、今こそ注目に値するのだ。

<https://www.claytoncountyregister.com/news2/platinum-and-palladium-the-undervalued-titans-of-the-precious-metals-market-by-rav-rach-founder-of-freshwater-bullion/304704/>

Translated by Kazuko OSAWA

 WPIC直近の活動

WPICは、9月6日にロンドンにて2023年見直しアップデートと第2四半期の説明会を開催した。2023年第2四半期の供給は、鉱山生産とリサイクルの低減で総供給量は前年比マイナス5%。精錬供給は前期より大幅に回復も、前年比マイナス3%。リサイクルについては自動車触媒リサイクル回収の問題で前年比マイナス12%、前期比マイナス8%。一方で、需要に関しては好調だった自動車と工業需要で前年比31%増となった。詳しくは添付の「2023年Q2 プラチナ四半期レポート プレゼンテーション」をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/supply-and-demand/platinum-quarterly>



#wpcippan